

2023年1月5日

## 女性の健康起点で職場コミュニケーション活性 丸紅フェムテック事業チームと『ソイチェック』で 社員の「更年期」に対する意識と行動が変化 郵送検査キットを活用したサステイナブルな健康経営

未病がテーマの郵送検査サービスを手掛ける株式会社ヘルスケアシステムズ（本社：愛知県名古屋市、代表取締役：瀧本陽介、以下「当社」）は、丸紅株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：柿木真澄、以下「丸紅」）フェムテック事業チームが実施した、当社の郵送検査キットを活用した女性の健康に関する施策についてご案内いたします。

今回の施策は丸紅社内の全社員を対象にした「更年期に関する」健康イベントで、当社の**エクオール検査『ソイチェック』**を初めて採用いただきました。丸紅では、検査キットの体験によって、知識の理解に加え、自分の身体を知って対策をとるという関心喚起と行動変容を促す狙いがありました。

その結果、検査キットを目的に過去最高の参加者を記録。そして、検査キットを実際に利用した社員の実に9割近く（89%）の方が、今後のセルフケアへの意識が高まったことがわかりました。

さらに、部署内で女性の健康課題をきっかけにコミュニケーションが生まれているなどの変化がありました。

当社の検査キットは、身体の状態を検査で“見える化”することによって、知識をより自分ゴト化して健康行動を促します。サステイナブルな健康経営の施策として利用企業の期待が高まっています。



エクオール検査『ソイチェック』

「ソイチェック」  
展示コーナー



様々な社員の方が参加したイベントの様子  
（丸紅様ご提供）

2023年1月5日

## ■ 社会的背景と検査キット採用のきっかけ

健康経営を積極的に推進する企業においては、特に女性特有の健康問題対策に高い関心が寄せられています（経済産業省）。ヘルスケアリテラシーと仕事のパフォーマンスの相関はこれまでも言われており、企業において健康リテラシー向上は重要なポイントです。一方で、労働生産年齢において**女性特有の課題は男性に比べて数も種類も多く**、サポートも不十分と言えます。

『月経や更年期といった女性の健康課題についてはタブー視されがちなトピックであり理解が進んでません。また、個人の課題にとどまり**企業の経営課題であるという認識が世間的にもまだまだ低い**状態です。社会で支援することで結果的に社会が良くなる、そのためには企業も支援をしていきたい』と、丸紅株式会社フェムテック事業チームでは、“企業による女性の健康課題へのサポート”の活動を広めています。フェムテック事業チームは、社内で全社員を対象にフェムテック関連イベントを行っており、月経・妊娠・更年期の女性の健康課題を知るために、専門家を招いたセミナーも実施していました。

しかし、**知識を得るだけでなく、行動変容に移すことが次のステップ**として重要と考え、検査キットで自分の身体を知ること、対策をとるというアクションを期待して、ヘルスケアシステムズの**エクオール検査『ソイチェック』**を採用するに至りました。

『ソイチェック』は、女性ホルモンとよく似た働きをする大豆由来成分「エクオール」が、体内でどのくらいつづけているかを尿で検査することができる郵送検査キットです。

検査結果によって、女性ホルモンが変化するタイミングで、どのような対策が自分に合っているのか選ぶきっかけになります。そのため、更年期世代（45歳～55歳）を迎える女性を中心に検査を活用いただいています。

## ■ 成果：セルフケアへの意識向上。社内コミュニケーションにも波及

今回、丸紅が社内で実施した全社員を対象にした健康リテラシー向上のためのイベントで『ソイチェック』を初めて採用いただきました。検査キットの体験使用によって、知識の理解に加えて、**自分の身体を知る&対策をとる関心喚起と行動変容へと促す**狙いがありました。

その結果、検査キットを目的に過去最高の参加者を記録。参加者の半数は検査が目的でした。そして、検査キットを実際に利用した社員の実に**9割近く（89%）の方が、今後のセルフケアを意識している**ことがわかりました。「食生活を整えようと思う（大豆を取ろうと思う）」「クリニック受診を検討しようと思う」と、より**具体的な行動への意識**を回答しています。女性だけでなく、更年期やエクオールのことを新たに知り、奥様に検査キットを渡してあげたという男性社員もいました。

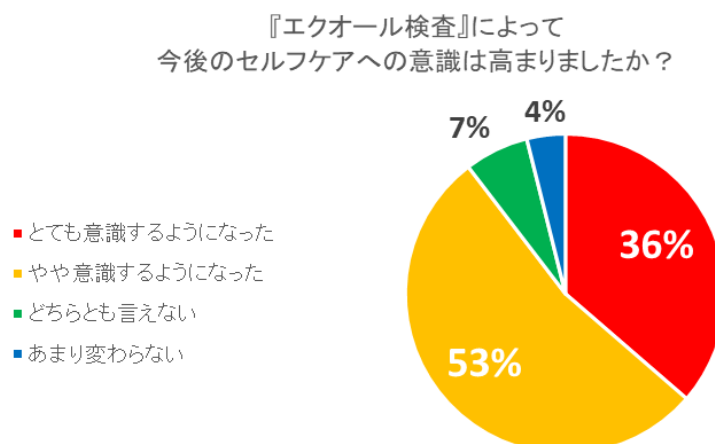


図1. 「ソイチェック」によるセルフケア意識変化（丸紅社内イベントのアンケートより）

2023年1月5日

男性の同僚が正しく理解してくれているという事を女性社員が知っていることで、職場での心理的安全性が高まっていたり、部署内で**女性の健康課題をきっかけにコミュニケーションが生まれている**などの変化が生じていると感じました。

これらの変化は間接的にでも、より働きやすい職場環境につながり、業務のパフォーマンスの向上に繋がっていくのではないかと考えています。

(フェムテック事業チーム責任者 野村優美さん)

## ■働く場で求められていく持続可能な健康施策

近年、女性の健康や働き方をサポートするような社会的な風潮を感じますか？

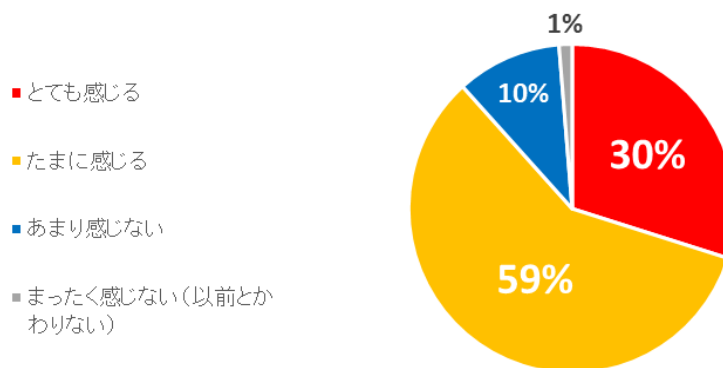


図2. 女性の健康や働き方をサポートする社会的な風潮（丸紅社内イベントのアンケートより）

女性の活躍推進や人的資本という観点から、女性の健康に取り組む企業が増え、女性の健康や働き方をサポートする社会的な風潮も感じます。今回のイベントでも、多くの方は感じると回答いただきました。一方で、継続するもマンネリ化して参加者が減少していく、成果がわからず一時的な取り組みで終わってしまうという声も聞かれます。

当社では、毎日の生活で変化する身体の状態を検査で“見える化”することで、**知識をより自分ゴト**にすることができます。「自分には何が足りないのか?」「この次はどう変わるのか?」と意識が変わることで、より**具体的な行動変容へと促します**。たんぱく質や腸活などといった身近なテーマの郵送型検査キットで、**全国場所を選ばない活用**が可能です。

今後、サステナブルな健康施策として、社員や社員の家族の健康や働き方推進に積極的に取り組む企業さまをサポートしてまいります。

### 会社概要

#### 株式会社ヘルスケアシステムズ

【所在地】（本社）〒466-0058 愛知県名古屋市昭和区白金1丁目14-1 8  
（東京オフィス）〒105-0004 東京都港区新橋4-6-15 日新建物新橋ビル7F  
（九州ラボ）〒839-0864 福岡県久留米市百年公園1-1 福岡バイオインキュベーションセンター203号  
【設立】2009年3月設立 【資本金】3,000万円（資本準備金含む）  
【事業内容】郵送検査事業、バイオマーカーの研究開発、機能性食品の臨床試験・受託研究  
【グループ会社】株式会社ダンテ／株式会社アデノプリバント／上海乐检生物科技有限公司  
【会社URL】 <https://hc-sys.jp>

本リリースの問合せ：株式会社ヘルスケアシステムズ 広報 高実子（たかじつこ）

詳細についてはこちらまでご連絡ください **03-6809-2722** [pr@hc-sys.jp](mailto:pr@hc-sys.jp)